

【意見の概要とそれに対する委員会の考え方】

No	意見の概要	意見に対する委員会の考え方
1	<p>旧市町村を越えた統廃合は原則行わないとあるが、地域にこだわる事なく統廃合を進めるべき。</p> <p>(他同様意見 1)</p>	<p>これまで旧市町村の各中学校区をベースにして、地域との交流等を図りながら、つながり合っ て共に育つ「郷育教育」の推進を図ってきました。 引き続き、この「郷育教育」を大切にし、基本的 にその地域での統廃合が望ましいと考えます。</p>
2	<p>統廃合後に従来の学区を越えての登下校となる 場合、スクールバスの活用が必要となる地域が 多くなり、これまで同様にきめ細かな運行が可能 か。</p>	<p>統廃合に伴うスクールバスの活用については、 現在行われているきめ細かな運用と変わらない ものと認識しております。</p>
3	<p>廃校が廃墟とならないよう、活用方法の決定を 先に行うべき地域もあるのではないかと。</p>	<p>廃校の活用については、関係者が十分話し合い を持ってほしいと考えます。</p>
4	<p>合併前の旧神林村の学校統廃合の答申につい ての文言は、状況が変わっているので、あえて記 載する必要はないのではないかと。今後の議論、 色々な選択肢の妨げになるのではないかと。</p>	<p>当時と現時点では環境等に違いがあるかもしれ ませんが、市町村合併時の引き継ぎ事項となっ ております。状況の変化を踏まえながら、今後の 整備計画において検討してほしいと考えます。</p>
5	<p>小学校は、複式学級にならない限り、統廃合の 必要性はないと思う。</p>	<p>国、県の方針等から、ある程度の人数は必要で あると考えます。そういう意味から、複式学級に 限らず、少人数の学級は望ましい教育環境と言 えず、このことを踏まえて検討することが必要と 考えます。</p>